

昭 20										昭 19	年 月 日	歩兵第七四旅団作業隊略歴 通称号 先第一二六七六部隊
8	8	12	11	9	8	8	8	5	4	8		
昭 20										昭 19	略 歴	摘要
23	19	2	27	3	23	18	9	10		1		
<p>武蔵残留隊の行動</p> <p>柏原に移動</p> <p>柏原において武装解除</p>										<p>幌筵島において千島第三歩兵隊を基幹として編成完結</p> <p>爾後同島付近において道路作業、陣地構築作業に従事</p> <p>「カ」号作戦に依り幌筵島柏原に転進命令下達</p> <p>主力柏原に転進（一部武蔵に残留）</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>柏原より占守島に転進、旅団司令部の位置で「ソ」軍と対陣したが戦闘せず</p> <p>占守島三好野飛行場において武装解除</p> <p>占守島第一五作業大隊に編入</p> <p>占守島出発</p> <p>「ナホトカ」經由 入「ソ」</p>		

0926

		12	11 9
		8	30 1
			幌筵島第三作業大隊に編入 柏原出発 「ナホトカ」經由 入「ソ」
		隊長	
		中尉 小林 政吉	

		昭 20		昭 19		年 月 日	略 歴	
		8	8	5	4			
		21	17	10	12			
		<p>前線隊は依然現任務を続行</p> <p>前線隊の編成をとく、第一、第三中隊の戦闘を直接指揮し駱駝山方向の「ソ」軍を攻撃すべく戦闘を準備す</p> <p>停戦命令を受領、一切の戦闘行動を中止</p>		<p>日「ソ」開戦</p> <p>本部の行動</p> <p>爾後本部は「カ」号作戦に基き古守島作戦地区の前戦隊を編成し長栄山（三好野飛行場北方）を警備、第一中隊は主力を柏原地区、一部を幌筵島磐城に配属、第二中隊は古守島左戦隊に配属せられ別飛沼付近に位置す、第二小隊、第一分隊は国端警備隊に分属、第三小隊は古鷹山に陣地構築、第三中隊は古守島右戦隊に配属せられ時宗台地に位置す</p>		<p>軍令陸甲第四一号により編成下令</p> <p>幌筵島において千島第一速射砲隊を基幹として編成完結</p>		
						摘要		

第九一師団速射砲隊略歴

通称号 先第一二六六一部隊

略

略

0928

昭			昭			昭		
20			20			20		
8	8	8	8	8	8	8	8	8
21	20	19	18	21	18	21	19	17
<p>第一中隊の行動</p> <p>主力は占守島に転進し四嶺山に進出戦闘 桜島付近に前進し対陣し戦闘を続行 匂橋付近に前進し駱駝山方向に上陸の「ソ」軍に対し戦闘準備 停戦命令を受領、一切の戦闘行動を中止</p>			<p>第二中隊の行動</p> <p>天神山（大観台南方三軒）に向い対戦車射撃を準備待機す 第三中隊の駱駝山方面に対する防禦戦闘に協力</p>			<p>第三中隊の行動</p> <p>中隊長掌握のもとに独立歩兵第二八三大隊に配属、全兵力をもつて四嶺山南方、 木南川の九七高地において戦闘に参加 前日に引き続き戦闘を継続 千場川方面の「ソ」軍に対し戦闘準備 駱駝山方向に上陸の「ソ」軍に対し戦闘準備中戦闘停止の命令をうけて行動を中 止</p>		

至自昭					昭	昭
20					21	20
12	11	9	8	8	1	8
8	30	1	28	17	1	22
<p>占守島所在部隊三好野飛行場に集結 三好野飛行場において武装解除 占守島第一〇作業大隊に編入 占守島出発 「ナホトカ」經由 入「ソ」 幌筵島残置部隊は磐城において武装解除 幌筵島第三、第二〇作業大隊に編入 幌筵島出発 「ナホトカ」經由 入「ソ」</p> <p style="text-align: center;">隊長 大尉 清野 誠 一</p>						

0930

										昭	昭	年 月 日	第九一師団第一砲兵隊略歴	
										20	19			
12	11	9	8	8	8	8	5	5	4	10	12			
14	27	2	23	18	18	9							通称号 先第一二六六二部隊	略
<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島占守島において千島第一砲兵隊を基幹として編成完結 爾後本部第二、第三、第八、第一〇、第一二、第一三中隊は占守島、第四、第七 第九、第一一中隊は幌筵島に配備の上陣地構築、防空壕作業に従事 第一、第五、第六中隊は北海道守備のため転進 日「ソ」開戦 日「ソ」開戦により第九、第一一中隊占守島に前進、同地所在部隊に合流 第二、第四、第七中隊を除き占守島大観台付近の戦闘に参加 第二中隊は国端崎において戦闘 占守島三好野飛行場において武装解体 主力は占守島第一四作業大隊、一部将校大隊に編入 占守島片岡港出帆 「ナホトカ」經由 入「ソ」</p>													略	歴
													摘要	

0931

	10	9	8	8
	1	26	25	23
<p> 中佐 加瀬 谷 陸 男 隊 長 </p>			<p> 「ポートワニー」着 入「ソ」 </p>	<p> 同地出発 </p>
			<p> 幌筵島第一七作業大隊に編入 </p>	<p> 磐城において武装解除 </p>

幌筵島配備（第四・第七中隊）部隊の行動

自昭 20	至自 昭21	自昭 20	至自 昭21	昭 20	昭 19	年 月 日	第九一師団第二砲兵隊略歴				
8	1 12	1 11	9	8	8	8		<p>通称号 先第一二六六三部隊</p> <p>略歴</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島柏原において千島第二砲兵隊を基幹として編成完結 爾後占守島および幌筵島の警備に任じていた 第七、第八、第九中隊は北海道に転進 第三中隊は独立重砲兵第七中隊に第四中隊は独立重砲兵第八中隊に改編 日「ソ」開戦 「ソ」軍國端崎に上陸 第一、第五中隊の一部占守島四嶺山において戦闘 占守島三好野飛行場、幌筵島警城において武装解除 占守島第一四作業大隊及将校大隊に編入 占守島出發 「ナホトカ」經由 入「ソ」</p> <p>幌筵島所在部隊（第二中隊、第五中隊の主力）は幌筵島第一八作業大隊及将校大</p>			
28	17 14	1 27	2	28	21	18	9		16	10	12

0933

至自		昭	昭	年	月	日	略	歴	摘	要			
9	9	8	8								5	5	4
29	10	8	28								未	10	12
占守島所在部隊		<p>軍令陸甲第四一号により編成下令 幌筵島において千島第一防空隊を基幹として編成完結 第一、二、三大隊は各四ケ中隊、第四大隊は二ケ中隊編成 第二大隊及第一、第一二中隊は第五方面軍直轄となり北海道に転進中、第二梯団 の天領丸は海没（約四九〇名戦死） 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島武田浜に上陸、部隊主力は占守島、長崎および幌筵島柏原付近において 対空戦闘実施 国端に派遣中。井上義信中尉の指揮する二ケ分隊は地上戦闘に参加交戦</p>											
占守島第一二作業大隊及将校大隊に編入		<p>第三大隊（除第一二中隊）及第一三中隊は占守島三好野飛行場において武装解除 占守島第一二作業大隊及将校大隊に編入 第一二作業大隊占守島出發</p>											

第九一師団防空隊略歴

通称号 先第一二六四部隊

略

歴

摘要

0935

昭 21	自 至					昭 20	昭 21
8	7	12	11	9	9	8	1 1 10
1	27	8	30	2	1	24	17 1 6
<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>将校大隊占守島出發</p> <p>「ナホトカ」經由入「ソ」</p> <p>幌筵島所在部隊</p> <p>本部、第一大隊（除第一中隊）第四大隊（除第一三中隊）幌筵島磐城において武装解除</p> <p>幌筵島第二一作業大隊及将校大隊に編入</p> <p>将校大隊柏原出發</p> <p>「ナホトカ」經由入「ソ」</p> <p>第二一作業大隊柏原出發</p> <p>樺太大泊上陸</p> <p>隊長</p> <p>大佐 鈴木村治</p>							

1048の2

	昭
	21
	1
	17
	「ナホトカ」經由入「ソ」
	隊長
	少佐
	小針
	通

0938

昭			
21			
1	1	9	8
4	1	1	23
<p>第一中隊は占守島三好野飛行場において武装解除 占守島第九作業大隊に編入 占守島出発 大泊經由入「ソ」</p> <p>隊長 少佐 薄井善春</p>			

昭 19	昭 20	自 21	自 20	自 19	自 18	自 17	昭 19	昭 20	昭 21	年 月 日	略 歴	摘 要
4	5	8	8	8	9	9	10	10	11	12	軍令陸甲第四一号により編成下令 北千島占守島において千島第一守備隊を基幹として編成完結 爾後同地において弾薬、糧秣、燃料、資材等の輸送、陣地構築に従事 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島国端崎に上陸 占守島三好野飛行場において武装解除 占守島第七、第八、第一〇、第一二、第一三作業大隊および将校大隊に編入 占守島出発 「ナホトカ」「マガタン」「カムチャツカ」經由 入「ソ」	
<p style="text-align: center;">第九一師団輜重隊略歴</p> <p style="text-align: center;">通称号 先第一二六六七部隊</p>												
<p style="text-align: center;">隊長</p> <p style="text-align: center;">大尉 木村 森重 (549)</p>												

0941

		昭 和		昭 和		昭 和		昭 和		第九一師団兵器勤務隊略歴
		20		19		19		19		
		12	11	9	8	8	5	5	4	
		1	26	3	23	19	1	10	12	年 月 日
<p>通称号 先第一二六六八部隊</p> <p>略 歴</p> <p>軍令陸甲第四一号により編成下令</p> <p>占守島において千島第一守備隊を基幹として編成完結</p> <p>部隊主力をもつて幌筵島（柏原）付近転進、一部をもつて占守島（長崎）に位置し兵器勤務に従事</p> <p>主力（柏原）は長崎に集結し、国端崎（占守島）方面の戦闘に協力すべく兵器、弾薬の補給整備および長崎付近の警備に任ず</p> <p>占守島三好野飛行場において武装解除</p> <p>占守島第一五作業大隊に編入</p> <p>占守島出発</p> <p>「ナホトカ」經由 入「ソ」</p> <p>隊長</p> <p>少佐 家永大次</p>										
										摘要

昭 20	昭			昭			年 月 日	千島第一陸軍病院略歴
	19			18				
	8	4	5	5	4	4		
9	12	7	4	7			通称号 先第一二六六九部隊	
<p> 札幌において編成完結 小樽港出發 幌筵島柏原上陸、同地において病院開設 軍令陸甲第四一号により編成改正 第九一師団長の隷下に入る 本院 第一患者収容班 第二患者収容班 防疫給水班 衛生材料補給班 長崎分院 占守島長崎 武蔵分院 幌筵島武蔵 にありて診療業務に従事 日一ソ一開戦と同時に長崎分院の位置に患者収容班、移動治療班（開戦により柏 </p>								略
								摘要

0943

			昭 20			昭 21			昭 22		
12	11	9	8	8	7	7	6	6	8	8	
2	27	8	24	13	26	21	11	8	23	15	
<p> 原本院において編成)を出動させ、大観台、天神山、四嶺山に進出して患者の収容、治療業務に従事 停戦と同時に患者収容出動隊の半数は本院に復帰、他の半数は長崎分院に合流 武蔵分院は停戦と同時に全員本院に復帰 幌筵島柏原において武装解除、爾後引続き病院勤務続行 病院長以下主力は柏原出發 大泊上陸 一部技術大隊に編入 柏原出發 大泊上陸 長崎分院は占守島三好野飛行場において武装解除、その間停戦により付近部隊の戦傷者を多数収容したが、設備不足のため患者を逐次本院に移送した 占守島第一五作業大隊に編入 占守島片岡港出發 「ナホトカ」經由入「ソ」 病院長 少佐 今村不二男 </p>											

自 至自至自至自至自													至自至自 昭 19				昭 15					
9													2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				4 3					
6													18 5 17 15 7 8 28 25 22 21 20 19 18 16 16 15				11 1					
占守島長崎上陸、占守島北端男体山を中心に本部、第一、第二、第三、第四、第 配備変更のため幌筵島武蔵出發 千島列島幌筵島柏原上陸 小樽港出發 小樽市着 門司出發 門司上陸 釜山出帆 釜山着 鮮満国境通過 移動のため斐徳出發 同日より同地付近の警備 東安省斐徳において編成完結 軍令陸甲第一四号により編成下令													略				歴				摘要	
													通称号 先第四九七部隊 戦車第一一連隊略歴									

自至										昭			
自至										昭			
										21	20	19	
1	1	12	12	11	9	9	8	8	8	8	8	8	9
4	1	12	3	27	4	1	23	21	20	19	18	9	18
<p>五中隊が併列に位置す 整備中隊、本部の一部は駐屯地（千歳台）に残置せり 日「ソ」開戦 「ソ」軍占守島国端方面より上陸、攻撃のため国端崎四嶺山に出発、交戦 主力は女休山より男休山の「ソ」軍を攻撃多大の損害をうけた。 整備中隊は弾薬、糧秣輸送に従事 大観台に向い後退、大観台にて対待 朝日橋——天神山まで後退 停戦協定により三好野飛行場に集結 三好野飛行場において武装解除 占守島第九作業大隊及占守島第一一作業大隊に編入 第一一作業大隊占守島出発 「ナホトカ」經由入「ソ」 第九作業大隊占守島出発 大泊經由 入「ソ」</p> <p style="text-align: center;">隊長 大佐 池田末男</p>													

昭												昭	年	月	日	独立戦車第二中隊略歴
20												19				
8	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	4	3				
9	12	10	9	5	10	7	6	5	2	1	15	17				
日「ソ」開戦	爾後同島付近の警備	柏原港出帆、北千島占守島長崎上陸	柏原港上陸	北千島幌筵島柏原港着	小樽港出帆	小樽市着	門司出帆、下関着	釜山出帆、門司着	釜山着	鮮満国境(函們)通過	牡丹江省興隆出發	牡丹江省興隆において戦車第一師団司令部を基幹として編成完結	軍令陸甲第三一号により編成下令	略	歴	摘要

0947

至 自		昭 20	年	
10	10	8	6	
24	20	1	16	
		軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において第四二師団司令部第五七歩兵団司令部、輜重兵第四二連隊 (一ヶ小隊)を基幹として編成完結 爾後陣地構築、彈藥糧秣輸送、道路通信網の構成に従事 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除 得撫島第二、第五作業大隊に編入 得撫島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」	概	要
司令官 少将 仁 保 進			摘要	

独立混成第一二九旅団司令部略歴

通称号高嶺第一二六三七部隊

0949

至 自	昭 20	年	独立歩兵第八〇七大隊略歴 通称号高嶺第一二六三九部隊
10 10 10 9 8 8	8 6	月	
26 24 20 1 15 9	1 16	日	
<p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>得撫島第三作業大隊に編入同地出発</p> <p>得撫島において武装解除</p> <p>停戦</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>爾後同島において築城作業に従事</p> <p>として編成完結</p> <p>千島得撫島において第四二師団の残留隊（歩兵第一二九連隊第三大隊）を基幹</p> <p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令</p>	概	要	摘要
<p>隊長 大尉 庄司 幹雄</p>			

		昭 20			年
		8 6			月
		1 16			日
		8 6	10 10	9 8	8 8
		1 16	24 20	1 15	9 9
<p>独立歩兵第八〇八大隊 通称号高嶺第一二六七七部隊</p>					
<p>概要</p>					
<p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において第四二師団の残留隊（歩兵第一三〇連隊の第三大隊）を基 幹として編成完結 爾後陣地、道路構築作業に従事 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除 得撫島第三作業大隊に編入、同地出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p>					
<p>隊長 大尉 渋谷 勉</p>					
<p>摘要</p>					

1058

年		月		日	
昭	20	8	6	8	8
10	10	9	8	8	8
24	20	1	15	9	1
<p>独立歩兵第八〇九大隊略歴</p> <p>通称号高嶺第一二六七八部隊</p>					
<p>概 要</p>					
<p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令</p> <p>千島得撫島において第四二師団の残留隊（歩兵第一二九連隊の第三、第四中隊および歩兵第一三〇連隊の第五、第八中隊）を基幹として編成完結</p> <p>爾後障地構築、警備に従事</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>停戦</p> <p>得撫島において武装解除</p> <p>得撫島第一作業大隊に編入、岡地出発</p> <p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p>					
<p>隊長 大尉 米田 栄</p>					
<p>摘 要</p>					

0952

昭 20	年	独立混成第一二九旅団速射砲中隊略歴 通称号高嶺第一三六〇六部隊
8 6	月	
1 16	日	
自	8 8	軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において独立速射砲第一四中隊を基幹として編成完結 爾後同島において陣地構築作業に従事 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除 得撫島第五作業大隊に編入 得撫島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」
至	10 10 9 9 8 8	
		概要
		中隊長 中尉 宇佐美 高 義
		摘要

0954

						昭 20		年 月 日
						8	6	
						1	16	
<p style="text-align: center;">隊長 少佐 村上敏一郎</p> <p>「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>得撫島第二作業大隊に編入、同島出発</p> <p>得撫島において武装解除</p> <p>停戦</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>爾後陣地構築、海岸警備に従事</p> <p>成完結</p> <p>千島得撫島において歩兵第一二九、第一三〇連隊の速隊砲中隊を基幹として編</p> <p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令</p>						概		要
						摘要		

独立混成第一二九旅団砲兵隊略歴

通称号高嶺第一三六〇七部隊

0955

至 自		昭 20	年	独立混成第一二九旅団通信隊略歴 通称号高嶺第一三六〇八部隊
10 10 10	9 8 8	8 6	月	
26 24 20	1 15 9	1 16	日	
得撫島第三作業大隊に編入、同島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」 隊長 大尉 草刈 耕一		軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において第四二師団通信隊を基幹として編成完結 爾後北部軍より北海道内浦湾に転進を命ぜられ待機中 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除		概
				要
				摘要

昭 20		年	
10 10 9 8 8		月	
24 20 1 15 9		日	
<p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において歩兵第一二九連隊よりの差出要員を基幹として編成完結 爾後同島付近の警備に従事 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除 得撫島第一作業大隊に編入、同島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>隊長 大尉 小林 豊 雄</p>		概	
		要	
		摘要	

独立混成第一二九旅団兵器勤務隊略歴
通称号高嶺第一三六〇九部隊

年	月	日	概要				
昭 20	8	6	<p>独立混成第一二九旅団野戦病院略歴 通称号高嶺第一三六一〇部隊</p> <p>軍令陸甲第一一〇号により編成下令 千島得撫島において第四二師団野戦病院を基幹として編成改正完結 爾後衛生業務に従事 日「ソ」開戦 停戦 得撫島において武装解除 得撫島第一作業大隊に編入、同島出発 「ポートワニー」經由入「ソ」</p> <p>病院長 大尉 桜田 章</p>				
10	10	9					
8	8	8					
24	20	1	15	9	1	16	摘要

0958

		昭 20							年 月 日	略 歴	通称号 要二二九五一	第八八師団司令部 略歴	
		10	10	9	9	8	8	8					2
		22	5	25	19	25	15	9					
向地視察隊本部	編成	<p>軍令陸甲第三四号により編成下令 第五方面軍要員を基幹として上敷香において編成完結 爾後豊原に移駐、樺太国境並に北方地域警備 日「ソ」開戦 豊原において戦斗指揮 停戦 豊原において武装解除 将校は大泊将校大隊に編入 ウラチオ經由 入「ソ」 司令部主力は豊原第五作業大隊に編入 ポートワニ經由 入「ソ」 師団直轄の八八師団向地視察隊は歩兵第一二五連隊に配属、国境警備従事</p>										戦斗参加	
気屯	(平時)											気屯	(戦時)
摘要													

106502

				昭 20
				8
				11 10 18 17
				向地視察第一中隊
				" 第二中隊
				" 古屯
				" 古屯
				" 戦斗参加
			停戦	
			八方山にて武装解除	
			上敷査五二四作業大隊に編入	
			南樺太内収容所に収容 就労	
師団長	中將	峯木	十一郎	

0960

至自		至自		昭	年月日	歩兵第二五連隊 略歴
20		20		16		
8	8	4	4	7		
9		8		19	16	
編成		(平時)		(戦時)		
歩兵第二五連隊本部		小沼		逢坂		
" 歩兵砲隊本部		"		熊笹峠		
" 連隊砲中隊		落合		"		
" 速射砲中隊		留多加		宝台		
" 日「ソ」開戦		落合小沼に移駐、同地区の警備		臨時編成下令		
" 爾後部隊は上敷香にありて同地区の警備		大泊到着		稚内港出帆		
" 旭川より上敷香に移駐		歩兵第二五連隊要員を基幹として旭川において編成完結				
" 留多加		川上		20		摘要
" 24		23		17		

																	昭 20
																	8
																	9
第三大隊本部	第二機関銃隊	第二大隊砲隊	第八中隊	第七中隊	第六中隊	第五中隊	步兵第二五連隊二大隊本部	第一機関銃中隊	第一大隊砲中隊	第四中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	步兵第一大隊本部	落合		
留多加	"	"	"	"	西能登呂	落合	西能登呂	"	"	熊笹峠	上恵須取	荒貝沢	蘭泊	荒貝沢			
宝台	"	"	"	"	"	"	西能登呂	"	"	戦斗参加	戦斗せず	戦斗参加	戦斗せず	戦斗参加			
戦斗参加	"	"	"	"	"	"	戦斗せず	"	"								
逢坂 20 8 武 24 解	"	"	"	"	"	"	解 西能登呂 20 8 33	"	"	川上 20 8 武 23 解	二股 20 9 武 2 解	並川 20 9 武 2 解	逢坂 20 8 武 17 解	豊原 20 9 武 2 解			

1066の4

	昭 20
	10
	下旬
	豊原第五三二作業大隊
連 隊 長	豊 原
大 佐	
山 崎	
鏡	権 太 内 収 容 所

0964

		昭 18		昭 18	年 月 日	歩兵第一二五連隊 略歴 通称号 要二二三二部隊
		20	18	18	5	
		8	5	5	14	
第一中隊	古屯	編成	歩兵第一二五連隊本部	気屯	（平時）	軍令陸甲第四十二号により一二五連隊臨時編成下令 歩兵第二五連隊要員を基幹として札幌において編成完結 移駐のため札幌出発 稚内港出発、同日大泊着 上敷香に到着、爾後国境及び同地域の警備に従事 日ノ開戦
" 第一大隊本部	泉部落	"	歩兵砲隊本部	古屯	（戦時）	
" 通信中隊	"	"	連隊歩兵砲隊	気屯	八方山	
" 速射砲隊	古屯	"	"	"	戦斗参加	
" 第一中隊	古屯	"	"	"	"	
" 第一中隊	古屯	"	"	"	"	
" 古屯	古屯	"	"	"	"	摘要

第十中队	第九中队	第三大队本部	第二機関銃隊	第二大隊砲小队		第八中队	第七中队	第六中队	第五中队	第二大隊本部	第一機関銃隊	第一大隊砲小队	第四中队	第三中队	第二中队
"	"	内路	"	古屯	(平時)	"	古屯	安別	"	古屯	"	"	"	"	泉部落
"	"	八方山	"	八方山	(戦時)	"	八方山	安別	"	八方山	古屯	"	師走	"	古屯
"	"	战斗参加	"	战斗参加		"	"	"	"	"	"	"	"	"	战斗参加
"	"	古屯8 武19 解	"	古屯8 武19 解		"	八方山19 武解	北20名8 好20 武解	"	"	"	"	"	"	古屯20 8 武19 解

		至自 昭昭 20 20	昭 20	年 月 日	略 歴	通称号 要二二九五二部隊						
		8 8 5	2									
		9 8 28	28									
第三中隊	第二中隊	第一中隊	第一大隊本部	乗馬小隊	通信中隊	連隊砲隊	歩兵第三〇六連隊本部	編成	日ノ開戦	爾後部隊は豊原地区にありて警備に従事	第五方面軍要員を基幹として豊原において編成完結	軍令陸甲第三四号により編成下令
"	"	"	大泊	大泊	豊原	大泊	豊原	(平時)				
"	"	"	大泊	大泊	豊原	大泊	豊原	(戦時)				
"	"	"	戦斗参加せず	"	"	"	戦斗参加せず					
"	"	"	大泊 20 8 武 25 解	大泊 20 8 武 22 解	豊原 20 8 武 24 解	大泊 20 8 武 25 解	豊原 20 8 武 24 解					摘 要

					昭 20
				11 11 9 11 10.9	
				26 19 21	
連隊長	大佐	日野常蔵	大泊将校大隊	串崎隊	ウラヂオ "
			" 第五作業大隊	小林隊	ポルトワニ "
			" 第三作業大隊	石黒隊	ポルトワニ "
			豊原第二作業大隊	原口隊	ナホトカ経由 入「ソ」
			部隊は武装解除後作業大隊に編入		
			隊は上敷香に派遣、終戦と共に原隊復帰		
			連隊の主力は草野にあつて警備に従事、第一中隊、第二大隊本部、第五・六中		

1070

		至自	昭 20	年 月 日	工兵第八八連隊 略歴
		20 20	2		
		8 8 3	2		
		9 8	28		
第四中一小隊は歩兵二五連隊に配属真岡附近戦斗参加	第一中隊は歩兵第一二五連隊に配属となり古屯附近戦斗参加	停戦	器材小隊	上敷香	戦斗せず
		"	"	"	戦斗参加
		"	第四中隊	"	戦斗せず
		"	第三中隊	大泊	"
		"	第二中隊	大泊	戦斗せず
		"	第一中隊	古屯	戦斗参加
		編成	工兵第八八連隊本部	豊原	戦斗せず
		日「ソ」開戦		(平時)	(戦時)
		爾後部隊は豊原地区に移駐、同地区の警備		逢坂	戦斗せず
		第五方面軍要員を基幹として上敷香において編成完結		豊原	戦斗せず
		軍令陸甲第三四号により編成下令		豊原	戦斗せず

0973

				昭 20
		9	9	10
		20	21	下
		上敷香五二四作業大隊	大泊第四作業大隊	大泊将校大隊
				豊原五三二作業大隊
	連隊長			作業大隊に編入
	少佐	上敷香	ポートワニ經由	豊原
	東島			
	時松	樺太内収容所	入「ソ」	樺太内収容所

1071

						昭 20	年 月 日	第八八師団通信隊 略歴
9	11	9	8			2		
21	28	10	15			28		
大泊将校大隊	豊原第五作業大隊	作業大隊編入	停戦	"	"	"	軍令陸甲第三四号により編成下令 第五方面軍要員を基幹として上敷香において編成 爾後部隊は豊原に移駐、同地区の警備 日「ソ」開戦 編成 第八八師団通信隊本部 有線第一小隊 " 第二小隊 " 無線第一小隊 " 第二小隊 (平時) 豊原 (戦時) 豊原 戦斗せず 豊原 上敷香 八方山 逢坂 " " 戦斗参加	
ウラヂオ	ポートワニ經由							
"	入「ソ」							
							略	歴
							要	

0975